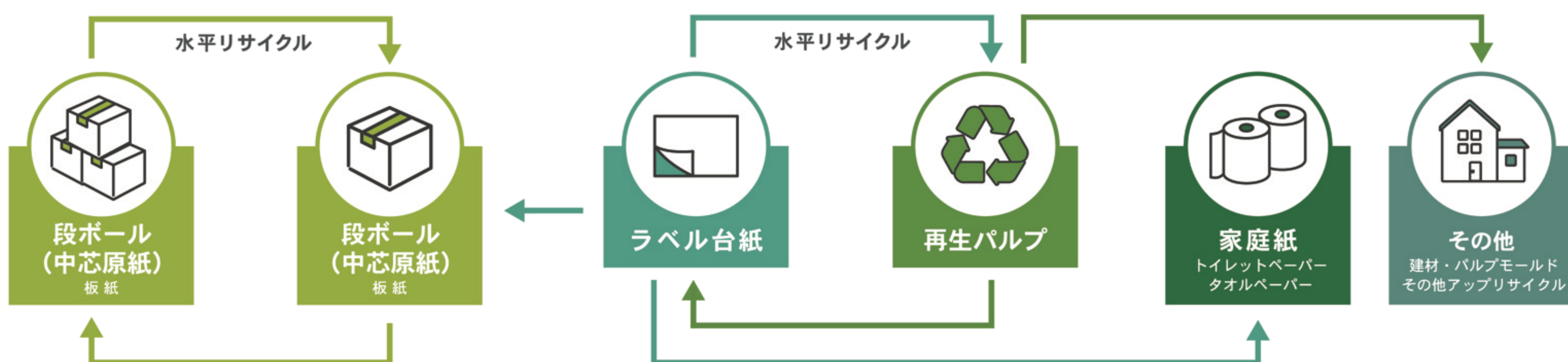




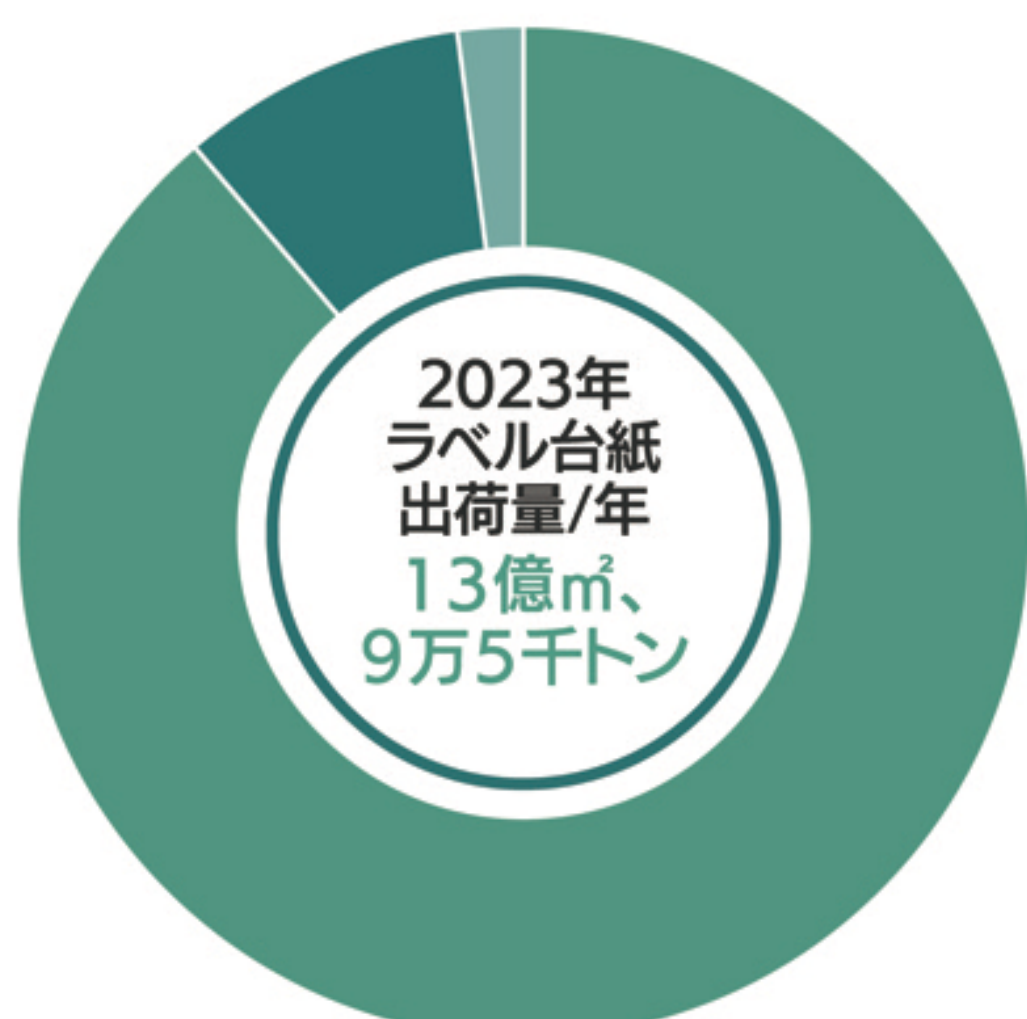
ラベル台紙は、リサイクル資源です。

今やシール・ラベル（以下ラベル）は私たちの生活に当たり前に存在するモノですが、この活躍の裏で一つ課題を抱えています。それはラベルの粘着面を保護するためのラベル台紙が使用された後に不要物として扱われていることです。これを、ラベルを使用する企業、製造する企業、そしてラベル台紙を再利用する企業、その他関連する企業が限られた資源を有効活用をするという同じ意志が課題解決には必要です。ラベル循環協会（J-ECOL）はラベルにおける循環型社会の実現を目的に設立致しました。皆様と一緒に循環型社会理念を推進し、環境負荷軽減に寄与して参ります。

想定される資源循環



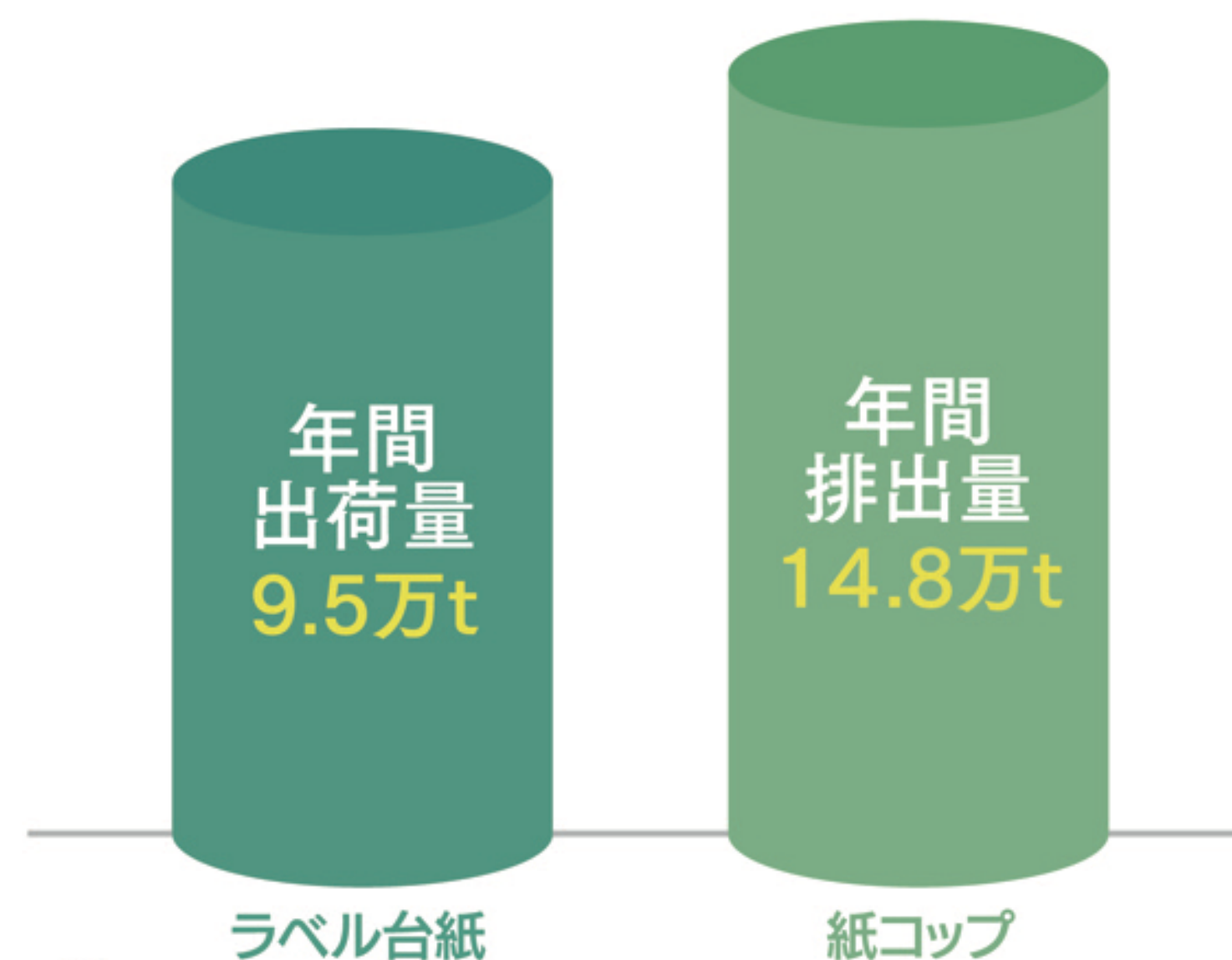
ラベル台紙の種類別出荷図



- 紙系(グラシン、上質も含む) 89%
- フィルム系(PET) 2%
- フィルム+紙の複層系(PE+グラシン、PE+上質も含む) 9%

国内におけるラベル台紙は約9万5千トン/年流通しており、その大半が有効利用されていません(※73g/㎡で計算)。ラベル台紙は良質なパルプでできており、適正に回収できれば「再生パルプ」として利用することが可能です。

ラベル台紙の年間出荷量



【紙コップ】

2023年度排出量 82億個×18g＝約14万8千t
※出典：(株)日本経済総合研究センター「包装資材シェア事典2023年版」
※7オンスカップの重量（ラベル循環協会調べ）

ラベル新聞社調べ



一般社団法人
ラベル循環協会

〒110-0014
東京都台東区北上野2丁目25番4号 東京シール印刷会館3F



ホームページ



団体概要



入会案内



事例